



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

谷戸に通って、冬を感じよう



霜柱。池に張った氷。山裾にぶら下がる氷柱(つらら)。いずれも、街中では見る機会が少なくなりました。凍えるような冬の朝、谷戸を歩くと発見できます。太陽の温かさも身に染みて感じられ、日向に座って、モズの声やアオジの姿を垣間見るのも味わい深いものですよ。

お知らせ&谷戸往来

春の七草・どんと焼き

1/14(日)13:30~

場所：野外生活体験広場
(荒天翌日延期)

引換券の頒布 13:30

火入れは14時頃

団子、七草粥は数に限りがあります。



お椀とお箸を
ご持参下さい

各種研修受け入れ

神奈川県職員 (10月~12月) 5回
班活動・体験学習参加、谷戸まつり
手伝い、活動連絡会見学

鎌倉市職員 7名 12/1

水路のササ刈り作業&NPOによる
里山保全の意義についての話
東京シニア自然大学 12名 11/29
カナムグラ除去作業など

かまくら認知症ネットワーク 39名

12/10 かまくら散歩

間伐材の頒布

緑地管理作業から発生する
間伐材の有効活用が目的で、
当会も参加(鎌倉市HP参照)



12/1 鎌倉市職員研修

●湿地の手入れ その2 畔の跡地を手入れしよう

昔は田んぼだった谷戸の湿地、今では畔の跡地に樹木が目立ちます。樹木が茂ると湿地の日当たりが悪くなり、アシやオギの生育が悪くなります。また、畔跡地から湿地へツルが伸びて湿地の植物をおおってしまいます。冬は湿地の作業に最適な季節です。生態系に配慮した畔跡地の手入れをしましょう。

●畔跡地の木をどうするか

不特定多数の人が訪れる都市型の里山の場合、畔跡地の樹木は野鳥の隠れ場所になるので、よい面もありますが、長い目でみると湿地によくないので、原則として大きな樹木は少しずつ（一気に切ると景観が急に変わるので）伐採した方がよいと思います。ウツギなどの低木は、野鳥やヘイケボタルのために役立つので、ある程度残さなければなりません。

●畔跡地の手入れ

生態系保全のためには、一部の植物を残しながら、少しずつ畔跡地の手入れを進める方が安全です。ササやアオキ、小さなノイバラを刈り、外来種のセイタカアワダチソウを抜きます。その後、ツルを除去して、湿地へツルが伸びるのを防ぎます。特にフジとクズ、カナムグラの駆除が大切なようです。

●注意点

ツルを引っ張るだけでなく、ツルの根元を確認して、地表すれすれにある発芽点を掘り取ります。ササやセイタカアワダチソウは、もう一度、春～夏に刈らないと効果が出ません。ノイバラは作業の妨げになるので根こそぎ切りたいところですが、花が咲くことや、昆虫に役立つので大きな株は残した方がよさそうです。

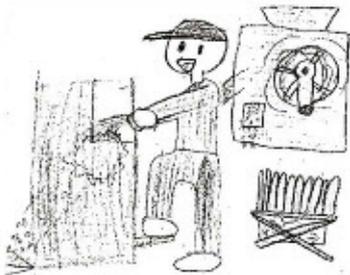
●切ってはいけない木

湿地の中でヘイケボタルが生息している場所が数箇所あります。畔跡地から伸びた木（低木）の枝が日陰を作り湿地の草が生えません。そのような場所は木（低木）を切らないことが大切です。これはホタルの専門家にもアドバイスを受けています。

●畔跡地を生かすことで魅力的な湿地ができる

山崎の谷戸のような都市型の里山では、狭い面積の中でたくさんの生きものを守る工夫が必要です。一面に湿地の植物が生えているよりは、湿地の所々に低木や水溜りがある箱庭的な環境が望まれます。機械力を駆使する業者にはできない、市民ならではの手作業が、湿地の畔跡地のよりよい保全につながるでしょう。次回は畔跡地周辺の手入れを考えてみます。

体験学習



(深沢小5・足踏み脱穀機、唐箕、千歯こき)

まず米を入れて、とってが付いたものをまわします。まわすと中にある風車がまわり、コメは下に、ゴミは風で横にいき、コメだけがおちます。ぼくは「すごいしくみだな」と思いました。(深沢小5・脱穀)

昔ながらの道具をたくさん使いました。昔の人の知恵はすごいなと思いました。今の時代はほとんどが機械で、便利ではあるが、少しつまらない時代だなと少し思いました。(深沢小5・脱穀)

野菜やうどんを切っていて、野菜は葉も皮も使っていて、食べられるところはすべて食べるんだと思いました。(教育支援教室 ひだまり)

泥の中に足を入れて草を取るとき足が全然ぬけなかったり、とても冷たい中作業するためとてもつかれました。鎌倉のためにこんなに頑張ってくれている人がいることを知りました。(大船中・湿地復元など)



(富士塚小5・釜戸)

おち葉がいろいろなしゅるいがあるなんてしらなかつた。谷戸にはいっぱい鳥や今ではめずらしい虫がいた。落ち葉でトランポリンがおもしろかった。(小坂小3・谷戸体験)

はじめて自分で最初から最後までつくったごはんを食べられたのでごくうれしかったし、おいしかったです。(富士塚小5・収穫祭)

各班のお知らせ

田んぼ班



稲刈り後の長雨で稲が乾かず、おまけに台風直撃で稲をかけたハサの 2/3 が倒壊してしまいました。駆けつけた会員の臨機対応で一日で立て直すことができました。米は谷戸まつりに間に合い感謝です。

畑班



日照不足と長雨続きの影響で、畑の収穫物にも変化がありました。何とか谷戸まつりの具材を用意できて安堵しました。これからは麦踏み、落ち葉かきと堆肥作り、さつまいもの苗床作りなどの予定です。



 12/3 落ち葉かき

植物育成班



今年もオギ原、ササの手入れに力を入れていきます。冬にしっかり手入れをしたところは、秋の湿地を彩る花々の景色に生まれ変わります。ヒガンバナも増やしていこうと思います。

生態系保全班



寒くなる前にカエルの産卵場所の整備をしました。産卵が減り心配しています。今年も引き続き観察を続け、増えるように試行錯誤していきます。冬の野鳥も変わりなく観察できるか楽しみです。

雑木林管理班



今年の雑木林の間伐作業のテーマは「明るい森にする」です。スダジイなどの常緑樹を伐採し、森の中に陽光が差し込むようにして、どんな新しい芽が出るのかを楽しみに作業しています。



 12/10 大根干し

自然遊び班



里山探検隊では堆肥用に落ち葉を集め、藁を編んでむしろを作り、手足をいっぱい使い作業しました。★おちばふみが1ばんたのしかった。(小1)★むしろの上ですわるととても気持ちがよかったです。(小6)

農芸班



漬物には塩漬け粕漬けなど、さまざまな種類がありますが、糠の効果で栄養があるたくわん漬けが一番おすすめです。大根を寒風にさらし、折り曲げて輪になるくらいまで干してから仕込みます。



 アカガエル

1月

7日 (日) 田 粃穀くん炭・堆肥切り返し
 畑 麦踏み・畑の整備・見回り ❖
 雑 雑木林の調査・測定 ☆
 講座「紙漉き・1」 ☆
 かまくらレンジャーズ

14日(日) 春の七草とどんど焼き

田 粃穀くん炭・堆肥切り返し ❖
 畑 さつまいも苗床落ち葉かき
 雑 竹の伐採 ☆

17日(水) 植 オギ原の刈り込み作業

21日(日) 田 粃穀くん炭 ☆

畑 畑の整備
 雑 間伐材整理 ❖

青空自主保育にここ会保全活動

28日(日) 田 粃穀くん炭・堆肥撒き ❖

畑 畑の整備
 雑 木障切り ❖
 生 アシ原の野鳥を探そう ❖

自 里山探検隊「つるブランコ作り」

青空自主保育なかよし会保全活動

講座「雑木林の観察」 ☆

2月

3日 (土) 青空自主保育やんちゃお保全活動

4日 (日) 田 堆肥撒き・苗床耕し ❖

畑 ねぎの苗床作り ❖

雑 園内整備 ☆

講座「紙漉き・2」 ☆

試食の日

7日 (水) 生 カエルの卵の観察

農 味噌作り ❖

11日(日) 田 粃穀くん炭・苗床耕し ❖

畑 大麦の草取り・土寄せ ☆

雑 雑木林の除間伐 ❖

14日(水) 植 ササの手入れ

18日(日) 田 畔直し

畑 畑の整備

自 里山探検隊

「かまどで火おこし」

25日(日) 畑 ジャがいもの植付け ❖

生 森の野鳥を探そう ❖

3月

4日 (日) 田 道具の手入れ ☆

畑 道具の手入れ ☆

雑 道具の手入れ ☆

自 父と子の里山体験

「竹でお椀と箸づくり」 ▶

7日 (水) 生 オタマジャクシの保護作業

11日(日) 田 畔・水口直し

畑 ねぎの種蒔き ❖

雑 雑木林の除間伐 ❖

講座「谷戸歩き」 ☆

14日(水) 植 外来植物除去作業

18日(日) 畑 さといも植え付け準備

21日(水・祝) 植 新芽の観察 ❖

25日(日) 畑 畑の整備

雑 間伐材の活用 ❖

生 ウグイスのさえずりを聞こう ❖

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時～16時

ホームページ: <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報84号)は、2018年3月に発行予定

☆ 谷戸塾

❖ 一日里山体験 (要予約)

▶ 会員以外の方、参加費500円

田: 田んぼ班

畑: 畑班

雑: 雑木林管理班

農: 農芸班

自: 自然遊び班

生: 生態系保全班

植: 植物育成班

